

1. 目的

「経営上層部理論」に基づき、東日本大震災前後において、経営者の特性と正社員の増減との関係分析及び考察を行う

2. 手法

1. TDBの信用調査報告書における経営者性格データの項目を因子分析で集約する
2. 東日本大震災前後の正社員数増減率を被説明変数、性格特性因子を説明変数とし、震災の影響度合いを考慮した部分集団解析を行う

3. 結果

因子分析結果

▶ 性格項目を6つの分類に集約

先見性	ワンマン	人情味
カリスマ性に富む F1(+)	一徹 F2(+)	包容力がある F3(+)
先見性に富む F1(+)	係数面不得手 F2(+)	人情味に厚い F3(+)
ビジョンがある F1(+)	豪放磊落 F2(+)	
企画力がある F1(+)	個性的 F2(+)	
	堅実 F2(-)	
	まじめ F2(-)	
シビア	実行力	社交的
ち密 F4(+)	積極的 F5(+)	社交的 F6(+)
金銭的にシビア F4(+)	機敏 F5(+)	話上手 F6(+)
	実行力がある F5(+)	
	慎重 F5(-)	

部分集団解析結果

- ▶ 震災の影響度合いにより集団分けし重回帰分析を実施
影響が甚大な地域：青森県、茨城県、岩手県
千葉県、福島県、宮城県
影響が比較的軽微な地域：上記以外
- ▶ 影響が甚大な地域では**ワンマンな経営者が正社員数を増加し、経理面に自信のある経営者が減少させた**
- ▶ 影響が比較的軽微な地域では**実行力がある経営者と技術面に自信のある経営者が正社員数を増加させた**

4. 考察

東日本大震災において、**震災の影響度合い**によって正社員の増減に影響する経営者特性が**異なっていた**

- ▶ **影響が甚大な地域ではワンマンさが正社員数を増加させ経理面への自信が将来を悲観視し減少させた**
- ▶ **影響が比較的軽微な地域では補助金の活用及び申請に積極的になる要素がある経営者が増加させた**